

事務事業名	コード	27700 工業振興支援事業	予算科目	会計	款	項	目	所管課	商工観光課	担当班	商工労政班
基本施策	2	商工業の振興	根拠法令	特になし	7	1	2	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	<input type="checkbox"/> 新市建設計画
施策の展開	5	工業の振興	戦略事業	29	工業振興支援事業		<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	<input type="checkbox"/> 主要事業			
施策の展開			戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	工業団地内の立地企業が良好な環境で事業を行えるよう主に下記事務を行う。 【立地企業相談対応】周辺地域と調和した良好な生産環境を整えることで、既存工業の振興を図るため、企業からの相談に対する体制を充実させるとともに、工業関係団体の育成として共同管理事業や福利厚生事業及び社会貢献事業への支援を行う。鎌数工業団地内の有害鳥獣駆除 毎週日曜日実施 【維持管理費支払い事務】さくら台工業団地に係る干潟土地改良区への排水負担金、鎌数工業団地連絡協議会への排水施設維持管理負担金	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
工業関係団体への支援は、工業団地の排水施設の維持管理や排水に係る維持管理について、負担を行なっている。また、工業団地周辺の環境整備のため有害鳥獣の駆除を行う。	工業団地に係る経費については、主に旭市土地開発公社で行なっていたが、公社解散により市が直接行なうこととなった。	有害鳥獣駆除について、企業からの要請により平成25年度から近隣住民への周知の徹底を行なったうえで、実施している。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円						
1.負担金補助及び交付金	1,211	干潟土地改良区排水負担金、工業団地連絡協議会排水施設維持管理負担金				
2.委託料	848	樹木剪定等委託料、害虫等駆除委託料、看板書替委託料				
3.工事請負費	2,592	工業団地関連土地整地工事費				
4.役務費	45	害虫等駆除関係保険料				
5.その他	26	害虫駆除等関係消耗品費				
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円						
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					

事業費	費目内訳	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
事業費	1.負担金補助及び交付金	千円	1,342	1,655	1,461	1,211	1,837
	2.委託料	千円	1,092	1,390	904	848	1,279
	3.工事請負費	千円	0	779	0	2,592	0
	4.役務費	千円	45	48	45	45	46
	5.その他	千円	17	234	18	26	26
事業費計(A)		千円	2,496	4,106	2,428	4,722	3,188
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	2,496	4,106	2,428	4,722	3,188

前年度増減理由 3.工事請負費の増加は、門扉更新(1,674千円)及びH29台風21号により倒壊したフェンスの補修(918千円)によるもの。※11節修繕料で支出。

従事職員数 常時 1人 最大 2人 × 1日 = 延べ 2人

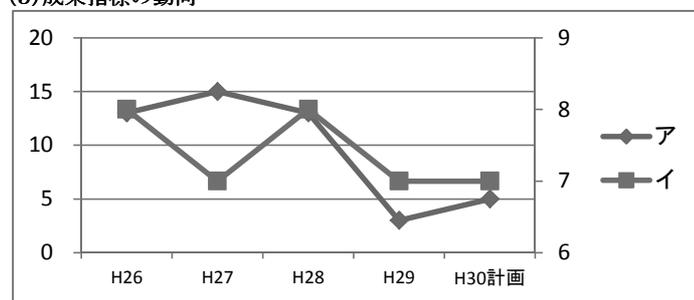
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 干潟土地改良区負担金、工業団地連絡協議会負担金 さくら台工業団地調整池門扉更新 さくら台工業団地フェンス補修 有害鳥獣駆除 毎週日曜日実施 工業団地内施設除草業務		ア 有害鳥獣駆除実施回数	回	37	38	25	25	25
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 工業団地内企業 迅速に採葉できる(生産環境に係る苦情・相談がなくなる) 対象意図		ア 立地企業からの苦情件数	件	13	15	13	3	5
			イ 工場等の新設又は拡充を行った企業(再掲:企業誘致促進事業)	件	8	7	8	7	7

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	評価結果	コスト比率		
	普通	ある程度ある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ほとんどない		①	②	③
			④⑤	⑥	⑦⑧	
			⑨	(7)		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値減=成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	平成28年度に大規模な設備拡充を行った企業が多く、反動で平成29年度は設備投資を行った企業が減少したと思われる。
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期 H30.10 内容 有害鳥獣の駆除実績により、来年度の実施回数・方法の見直しを行う。 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()
評価内容	比較 ア 25年度 13 26年度 2 27年度 Δ2 28年度 Δ10 29年度 2 イ 26年度 2 27年度 Δ1 28年度 1 29年度 Δ1 30計画 0